

『盲目的』 作：ポチ子

『盲目的』 作：ポチ子

盲目的に愛されるって、幸せなのかな。

何を喋っても、

何を書いても、

何を生み出しても、

一辺倒に素晴らしいって言われて。

大したこともない、

自分には不格好に見えるものが、

勝手に評価されるの。

そんなの悲しいじゃん。

良くないものは良くないよ。

そう言ってもらえた方が楽じゃない？

誰かの評価があるから、

自分って保てるものじゃん。

それが信用に値しないものになっちゃったら、

その人は何を信じて、

自分を確認するんだろう。

盲目的に愛されるのって、

誰も自分を見てないことと同じだよ。